

常任委員会

駒澤大学一学部一学科
(キャリア創造学科)一本化へ

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項の苫小牧駒澤大学「定員の削減と学科の統合」については、大学を存続させるため、来年6月に実施される第三者評価の認証評価の基準をクリアし、定員充足率の向上及び法人依存の経営改善を図ることが示されました。

また、市の「総合行政システム」の再構築については、市が導入している基幹業務システムの更新に併せて、福祉系システムも更新を行い、新たに「総合行政システム」として平成31年1月稼働に向けてることが示されました。これにより今後は、窓口業務の一元化など検討する旨の答弁がありました。



苫小牧駒澤大学

「053(ゼロ)み大作戦」ステージ4「総括について」などを議論

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

付議案件はなく、所管事項の4件が審議されました。苫小牧高齢者保険福祉計画・第6期介護保険事業計画の内容変更については、介護予防・日常生活支援総合事業が1年前倒しされ28年度より事業開始に向け整備を進めることが示されました。053(ゼロ)み(大作戦)については、総括の内容や課題などは、口頭での説明であったため、委員から資料で示すべきとの指摘がありました。また、リサイクル率の向上では、生ごみの減量や企業などから出されるごみの今後の展開について活発な議論がなされました。



ぼい捨て防止看板

明德小・東小中に係わる規模適正化改定案を審議

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

所管事項の「苫小牧市立小中学校規模適正化地域プラン(Aブロック・Eブロック改定案)」で、平成32年4月に明德小を錦岡小へ統合。さらに32年度内に東小・東中を東中敷地において両校改築を終え、新校舎供用開始予定との説明があり、各委員から通学路安全確保、転校による授業への影響、住民説明会の取り組み等について質疑がありました。また、「アイヌ文化教育に関する陳情」については、生徒の文化活動で欠席する場合は扱いを求めた陳情であるが、学校教育における欠席とは異なるとの各委員から意見が多くなり、審査の結果、願意に沿いがたく不採択となりました。



保護者説明会の様子

「市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告」について審議

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

「市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告」について、今年3月、入居者より家賃についての問い合わせがあり、調査の結果、20年度から家賃算定システムに誤入力があり、過大徴収24世帯37件、過小徴収6世帯10件がありました。また、対象30世帯を訪問し、陳謝するとともに内容を説明しました。過大徴収については、5月2日付で返還し、過小世帯の6世帯には、追加徴収の理解を求め、現在1世帯と協議中であるとの説明がありました。



算定誤りの再発防止について質疑